

# 記載例

## 児童手当額改定請求書（兼監護相当・生計費の負担についての確認書） （児童手当において第3子以降の加算額の適用を受けるために、大学生年代のお子さまを算定の対象とするための確認書）

（申立先）小平市長

私は、以下に記載する者（注1）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（注2）（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立て、児童手当における額改定を請求します。  
 申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

対象者が小平市外に在住の場合は、個人番号欄に記入の上、下記①および②の書類を添付してください  
 ①マイナンバーカード（ナンバーが書いてある面）の写し、またはマイナンバー通知書の写し、またはマイナンバー付住民票  
 ②本人確認書類（※顔写真付きのものの場合（マイナンバーカード写真のある面、運転免許証、旅券等）は1点、写真がないもの場合（健康保険証等）は2点）

氏名	生年月日	住所
小平 次郎 （小平市外に在住の場合のみ記入）	平成 15 年 10 月 1 日 （令和）	住所欄には住民票上の住所を記入して下さい 下記申立人と同じ ・ 下記申立人と異なる（ ●●県 ●●市 ●●町 ●●） 申立人と別の場合は住所を記入して下さい
個人番号 （小平市外に在住の場合のみ記入）	続柄 職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ） 卒業予定時期（学生の場合のみ）
11111111111111111111	子 学生 無職 ・ その他	●●●大学 令和 8 年 3 月
申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）	
小平 三郎 （小平市外に在住の場合のみ記入）	平成 17 年 10 月 1 日 （令和）	住所欄には住民票上の住所を記入して下さい 下記申立人と同じ ・ 下記申立人と異なる（ ●●県 ●●市 ●●町 ●●） 申立人と同居の場合は○をしてください
個人番号 （小平市外に在住の場合のみ記入）	続柄 職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ） 卒業予定時期（学生の場合のみ）
11111111111111111111	子 学生 無職 ・ その他	未定 令和 11 年 3 月
申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）	
小平 太郎 （小平市外に在住の場合のみ記入）	平成 17 年 10 月 1 日 （令和）	住所欄には住民票上の住所を記入して下さい 下記申立人と同じ ・ 下記申立人と異なる（ ●●県 ●●市 ●●町 ●●） 申立人と同居の場合は○をしてください
個人番号 （小平市外に在住の場合のみ記入）	続柄 職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ） 卒業予定時期（学生の場合のみ）
11111111111111111111	子 学生 無職 ・ その他	未定 令和 11 年 3 月
申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）	

市内に住民票がある場合個人番号の記入は不要です

「職業等」の欄については、学生、無職以外の者（有職者を含む。）はその他に○をつけてください。また、学生等がアルバイト等をしている場合は学生に○をつけてください。

「通学先」の欄及び「卒業予定時期」の欄については、「職業等」の欄で学生に○をつけた場合のみ記載してください。「卒業予定時期」の欄については提出時点での予定時期を記載してください。

いずれにも該当しない（生計費の負担がない）場合は、第3子以降の加算額の適用はありません

この確認書の提出時点において、進学や就職先が未定である場合は「未定」と記載のうえ提出して下さい。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

【申立人】(児童手当の請求者・受給者) 令和 ●年 ●月 ●日 日中連絡の取れやすい電話番号をご記入ください  
 住所 小平市 小川町 2-1333 電話番号 001-203-0405  
 氏名 小平 太郎

注意  
 1 この確認書は、受給者（請求者）が養育（監護し、かつ、生計を同じくするか又は維持することをいいます。）する児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。）及び経済的負担（監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護並びにその生計費の担当部分の負担を行っていることをいいます。）のある児童の兄弟等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。）の合計人数が3人以上の場合に、当該児童の兄弟等について記入の上、提出して下さい。  
 2 この確認書は、18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、以下に掲げる者を除いた者について記載してください。  
 ①児童福祉法に規定する延長者 ②児童自立生活援助を受けている者（2か月以内の期間を定めて行われる援助を除く。） ③母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、障害者支援施設、のぞみの園、救護施設、更生施設、日常生活支援住居施設又は女性生活支援施設に内所又は入院している者（2か月以内の期間を定めて行われる入所を除き、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のみで構成する世帯に属する者に限る。）